

南海トラフ地震臨時情報が発表された際に 建設会社がとるべき行動

南海トラフ地震臨時情報とは

「南海トラフ地震臨時情報」は、南海トラフ沿いで異常な現象を観測された場合や地震発生の可能性が相対的に高まっていると評価された場合等に、気象庁から発表される情報です。政府や地方公共団体などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとりましょう。

南海トラフ地震 臨時情報

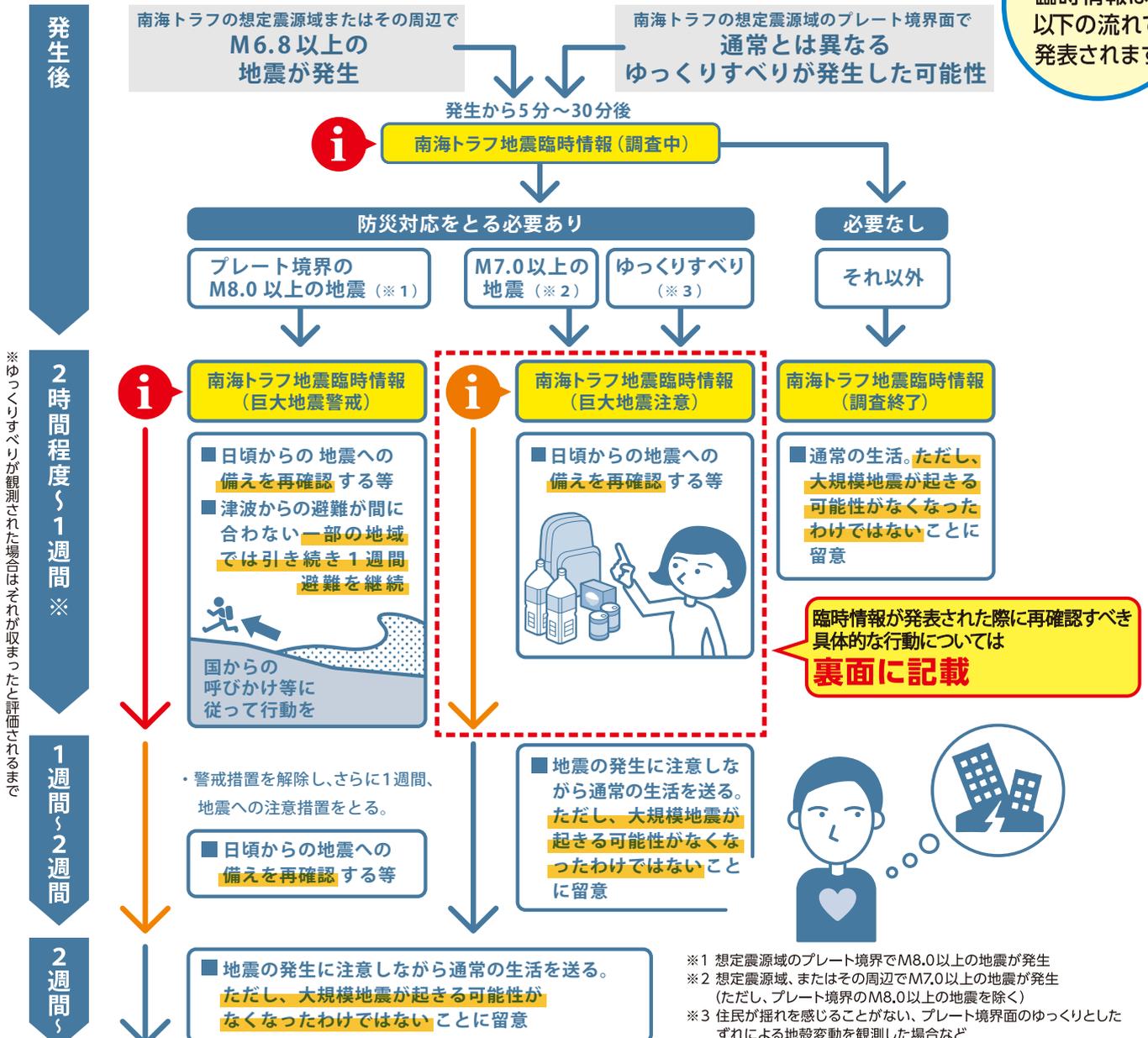
発表 条件

- 南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
- 観測された異常な現象の調査結果を発表する場合

引用：「南海トラフ地震に関する情報の種類及び発表条件」(気象庁)をもとに作成

地震発生後の防災対応の流れ

南海トラフ地震
臨時情報は
以下の流れで
発表されます



BCPを再確認!!事前の備えを!!

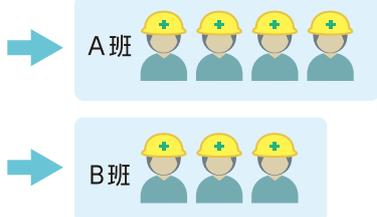
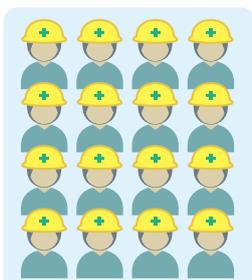
様々な自然災害に備えるべく、ここでは一例として、南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表された際にとるべき行動の例を示しています。

BCPの再確認や対応方針の検討を行い、後発地震に備え、被害の軽減を図りましょう。

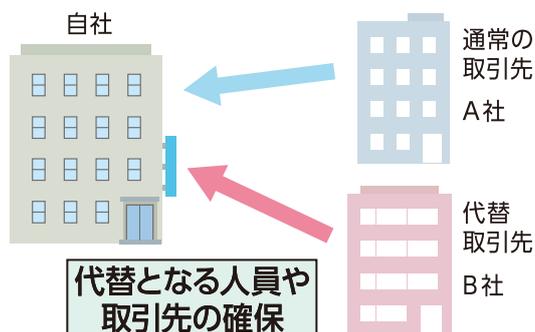
南海トラフ地震 臨時情報発表（巨大地震注意）

再確認の主なポイント

ポイント1 必要な事業を継続させるための措置



人員の再配置



ポイント2 地域への貢献



物資や資機材の供与・貸与等の支援



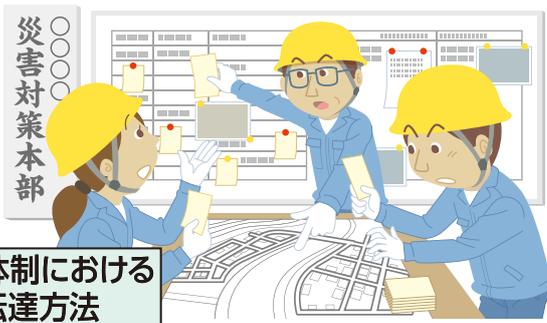
避難先への敷地の開放

ポイント3 各企業内における情報の伝達

▶ 日頃からの地震への備えの再確認



情報の把握



地震の発生に備えましょう